

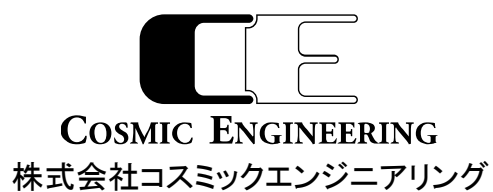
MUX5002-4D/-8D/-8A

C5000 シリーズ

オーディオ・マルチプレクサ・モジュール

取扱説明書

Ver 1.14



はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

 警告**■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない**

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。

**■ お客様による修理はしない**

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

**■ 不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■ 内部に異物を入れない**

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない**

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

**■ ご使用は正しい電源電圧で**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

**■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない**

火災・感電の原因になります。

**■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

**■ 電源ケーブルを傷つけない**

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。

**■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

**■ 機器の上に小さな金属物を置かない**

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	8
2. 構成.....	8
3. 機能.....	8
4. ブロック図.....	10
5. 操作説明.....	11
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	11
5-2. フロントモジュール設定.....	13
6. フレームへの取付方法.....	13
7. SNMP.....	14
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット.....	27
9. WebControl.....	33
9-1. モジュール画面.....	33
9-2. ステータス.....	34
9-2-1. SDI 入力 1.....	34
9-2-2. リファレンス.....	34
9-2-3. Dipsw1.....	34
9-2-4. Dipsw3.....	34
9-2-5. 内部バス通信エラー.....	34
9-2-6. SDI 入力 1 アンロックエラー.....	34
9-2-7. リファレンスアンロックエラー.....	34
9-2-8. LTC アンロックエラー.....	34
9-3. 各種設定.....	35
9-3-1. 入力 1 リレー.....	37
9-3-2. リファレンス選択.....	37
9-3-3. 水平位相.....	37
9-3-4. 垂直位相.....	38
9-3-5. FS モード.....	38
9-3-6. フリーズ動作.....	38
9-3-7. アンシラリー出力.....	38
9-3-8. システムフォーマット.....	38
9-3-9. マニュアルフリーズ.....	38
9-3-10. タイムコード選択.....	38
9-3-11. タイムコードオフセット.....	38

9-3-1 2.	タイムコードオフセット（時間）～（フレーム）	38
9-3-1 3.	タイムコードロスト時	38
9-3-1 4.	タイムコード初期値（時間）～（フレーム）	38
9-3-1 5.	タイムコード初期値(BG1)～（BG フラグ）	38
9-3-1 6.	タイムコードドロップフレーム	38
9-3-1 7.	タイムコード初期値読み込み	38
9-3-1 8.	タイムコードフレーム初期値読み込み	38
9-3-1 9.	タイムコードラン	38
9-3-2 0.	同じ TC ロスト判定	39
9-3-2 1.	DF/NDF モード	39
9-3-2 2.	エンベデッド・グループ 1～8 出力	39
9-3-2 3.	自動プリセット適用	39
9-3-2 4.	プリセット 1M～プリセットその他	39
9-3-2 5.	GPI1～GPI5 機能	39
9-3-2 6.	GPO1～GPO5 機能	39
9-3-2 7.	SDI リモート録画	39
9-3-2 8.	スーパー出力	39
9-3-2 9.	スーパー静止画選択	39
9-3-3 0.	スーパー位置(X)、(Y)	39
9-3-3 1.	スーパーマスク 1 左上(X)～スーパーマスク 4 右下(Y)	39
9-3-3 2.	プリセット読み込み	39
9-3-3 3.	プリセット書き込み	39
9-3-3 4.	カレントエンベデッド Ch01～Ch32 入力ゲイン	39
9-3-3 5.	カレント外部入力 Ch01～Ch16 入力ゲイン	40
9-3-3 6.	カレントエンベデッド Ch01～Ch32 出力ゲイン	40
9-3-3 7.	カレントテストトーン 1 振幅(dBFS)	40
9-3-3 8.	カレントテストトーン 1 周波数	40
9-3-3 9.	カレントテストトーン 2 振幅(dBFS)	40
9-3-4 0.	カレントテストトーン 2 周波数	40
9-3-4 1.	カレントリマップ出力 Ch01～Ch32	40
9-3-4 2.	カレントオーディオ・オーバー・Ch01～Ch32	40
9-3-4 3.	カレントオーディオ・オーバー・フェード時間	40
9-3-4 4.	カレントオーディオ・オーバー・テイク	40
9-3-4 5.	ダウンミックス・ソース選択 Ch01～Ch32	40
9-3-4 6.	ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01～Ch32	40
9-3-4 7.	ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01～Ch32	40
9-3-4 8.	ミックス 1～8 ソース選択 Ch01～Ch04	40
9-3-4 9.	ミックス 1～8 係数 Ch01～Ch04	40
9-3-5 0.	カレント音声遅延(ms)	41
9-3-5 1.	アラーム設定（内部バス通信エラー）	41

9-3-52. アラーム設定 (SDI 入力 1 アンロックエラー)	41
9-3-53. アラーム設定 (リファレンスアンロックエラー)	41
9-3-54. アラーム設定 (LTC アンロックエラー)	41
9-3-55. トラップ設定 (SDI 入力 1 アンロックエラー)	41
9-3-56. トラップ設定 (リファレンスアンロックエラー)	41
9-3-57. トラップ設定 (LTC アンロックエラー)	41
9-3-58. 初期設定に戻す	41
9-3-59. コンフィグファイルに書き込み	41
9-4. 再起動設定	41
9-4-1. 再起動を許可	41
9-4-2. コントローラの再起動	41
9-5. ログ設定	41
9-5-1. ログ件数	42
9-5-2. ログ更新時刻	42
9-5-3. ログファイル初期化	42
9-5-4. ログ取得	42
9-6. 製品情報	42
9-6-1. 製品 ID	42
9-6-2. 製品概要	42
9-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)	42
9-6-4. 占有スロット数	42
9-6-5. 別名	43
10. コネクタ ピンアサイン表	44
11. 定格および電気的特性	45
12. お問い合わせ	46

1. 概要

- MUX5002-4D は C5000 モジュールシステムに搭載可能な SDI 信号に、デジタル・オーディオ 4 系統 8ch をマルチプレクスするモジュールです。MUX5002-8D はデジタル・オーディオ 8 系統 16ch 、MUX5002-8A はアナログ・オーディオ 8ch をマルチプレクスします。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

MUX5002-4D/-8D/-8A は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

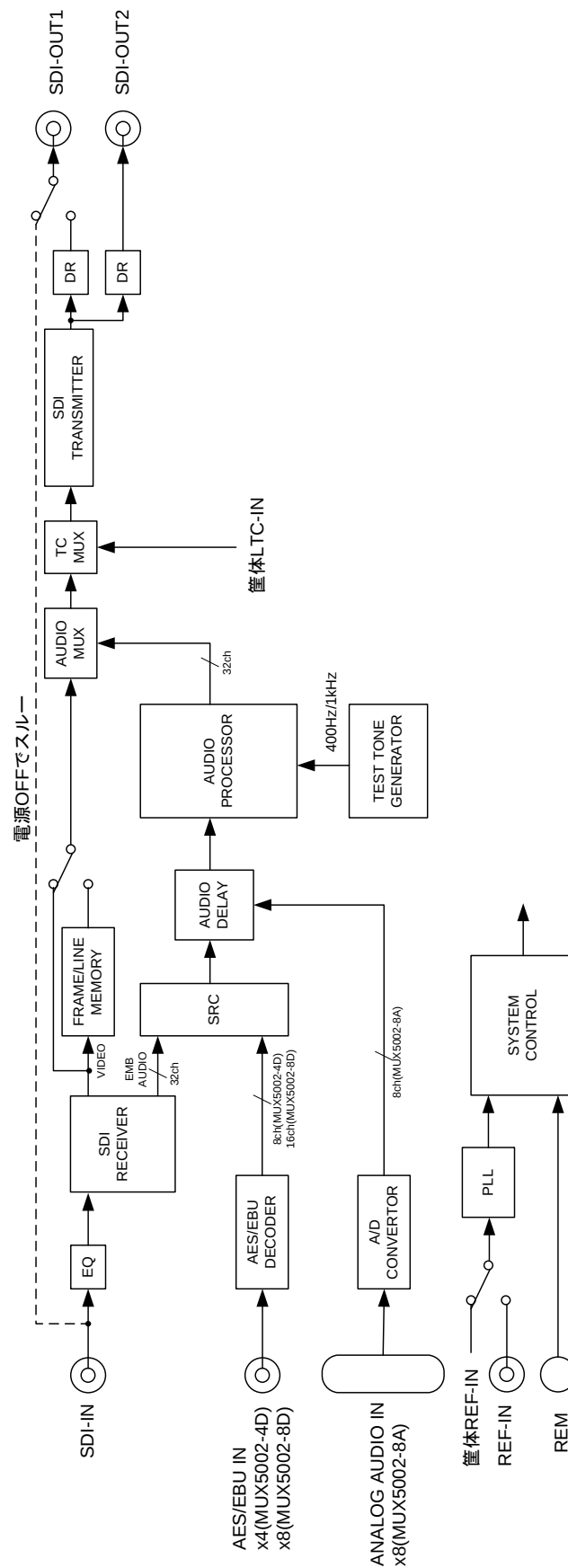
品 名	型 名	数 量	備 考
オーディオ・マルチプレクサ・モジュール	MUX5002-4D、 MUX5002-8D 又は MUX5002-8A	1	本体
DSUB-BNC 変換ケーブル	CBL5000-AES8	1	MUX5002-8D
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・ 3 G(レベル A/B)/HD/SD-SDI に対応し、入力レートを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・ リファレンス信号の状態を LED で表示します。
- ・ フレーム、ラインシンクロナイズ動作有効時は、スイッチング時の CRC エラー、ラインナンバーエラーを吸収するデグリッチ機能を装備しています。
- ・ 筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケット(LTC/VITC)として重畳することができます。
- ・ エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。電源 OFF 時（フロントモジュール未挿入時含む）に SDI-IN が SDI-OUT1 にスルーされます。
- ・ 外部オーディオ入力（デジタル・オーディオ 4 系統 8ch/8 系統 16ch もしくは、アナログ・オーディオ 8ch）と SDI 入力にエンベデッドされた音声、テストトーンの中から、32ch のマルチプレクス動作を行います。（SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで対応します。）
- ・ リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス、オーディオ・オーバー機能を装備しています。
- ・ ゲイン調整は、-50.0dB～+50.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・ 任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・ デジタル・オーディオ、アナログ・オーディオの基準レベルは設定コマンドで切り替えることができます。
- ・ オーディオ・オーバー機能とは、各出力チャンネルに指定した音声ソースをフェードイン／フェードアウトでミックスする機能です。フェードイン／フェードアウト時間は 0.0 秒～5.0 秒まで 0.1 秒刻みで可変することができます。
- ・ 12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・ 接点入力によるプリセットの切替が可能です。

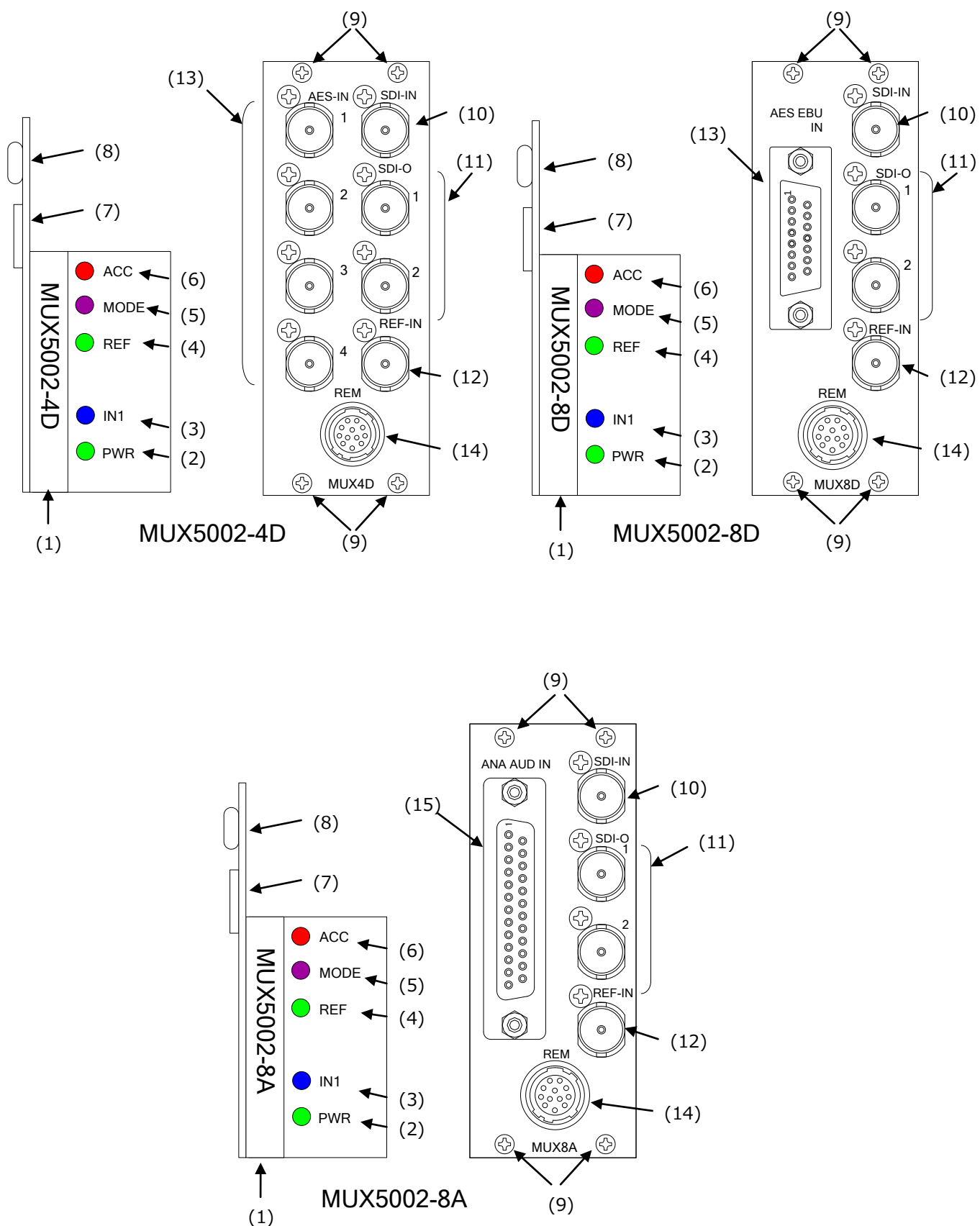
- ・リファレンス信号を入力することにより、非同期信号の入力が可能です。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件を SDCARD に保存しています。
- ・パラメータの設定は SD カード内の設定ファイルを直接編集、又は SNMP, WEB より設定します。
- ・SNMP に対応しています。
- ・スーパーインポーズ用静止画を 4 枚登録でき、そのうちの 1 枚をスーパーインポーズ可能です。スーパーインポーズ時はラインシンクロモードのみ対応します。静止画は非圧縮 TARGA ファイルのみです。
- ・スーパーインポーズの ON/OFF は GPI 又は WEB で行います。
- ・スーパーインポーズのマスク領域を 4 か所登録でき、GPI 又は WEB で ON/OFF できます。
- ・スーパーインポーズ機能は、オプション機能です。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示



(1)フロントモジュール引き出し取っ手 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

(2)電源ランプ 電源投入時 緑点灯 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

(3)入力 1 レート LED (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

入力 1 信号のレートを LED 点灯色で表示します。

3G-SDI	----	緑 点灯
HD-SDI	----	青 点灯
SD-SDI/DVB-ASI	----	白 点灯
無信号	----	消灯 (非対応フォーマット含む)

(4)REF LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

リファレンス信号の状態を LED で表示します。

リファレンス正常	----	緑 点灯
リファレンス異常	----	紫 点灯

(5)MODE LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。

フレームシンクロナイズ・モード(FS)	-----	緑 点灯
自動音声ミュート・モード(AAM)	-----	紫 点灯
ラインシンクロナイズ・モード(LINE)	-----	青 点灯
バイパス・モード	-----	消灯

(6)SD カードアクセス LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

SD カードのアクセス LED です。各種設定は SD カード内の設定ファイルに記述し、電源投入時、及び SD カード挿入時に SD カードからの設定ファイルの読み出しを行います。SD カードへのアクセス中は赤点灯し、読み出し、設定完了後、設定コマンドにエラーがなければ 1 秒間緑点灯、エラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

(7)SD カードスロット(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

設定ファイルを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(8) マイクロ A/B USB コネクタ (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクタです。(本バージョンでは未対応)

(9)リアモジュール固定ネジ 4 か所 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

(10)SDI 入力 1 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

(11)SDI MUX 出力 1～2(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

オーディオ・マルチプレクスされた SDI 出力が 2 分配出力されます。電源オフ時は、SDI 出力 1 に SDI 入力 1 がスルー出力されます。

(12) リファレンス入力 REF-IN (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

モジュール専用のリファレンス入力に装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

(13)AES/EBU 入力(MUX5002-4D/8D 共通)

デジタル・オーディオ入力です。MUX5002-4D では 4 系統 8 チャンネル、MUX5002-8D では 8 系統 16 チャンネル入力できます。

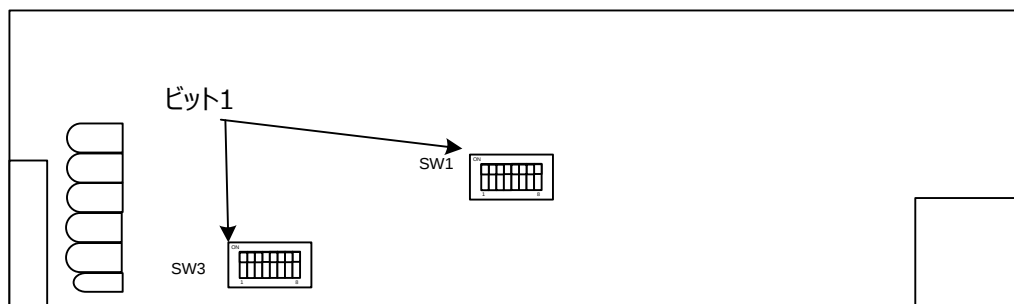
(14)リモート GPIO コネクタ REM(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

汎用の GPIO5 入力と汎用の GPIO5 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行うことができます。

(15)アナログ・オーディオ入力コネクタ(MUX5002-8A)

アナログ・バランス・オーディオ入力コネクタです。

5 - 2. フロントモジュール設定



SW1

ビット	内容
1-8	Reserved (出荷時設定から変更しないようにしてください。)

SW3

ビット	内容
1	アナログ音声基準レベル OFF=4dBm、ON=0dBm
2	デジタル音声基準レベル OFF=-20dBFS, ON=-18dBFS
3-8	Reserved (出荷時設定から変更しないようにしてください。)

6. フレームへの取付方法

6-1 リアモジュールを取り付けます。

6-2 “2 スロット”以上の空きを確認して実装します。

6-3 リアモジュールをスロットにさしてリアモジュール固定ネジを 4 ヶ所ネジ止めします。

6-4 リアモジュールのスロット番号を確認して若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット 9,10 の場合、スロット 9 に挿入)

7. SNMP

MUX5002-4D/MUX5002-8D/MUX5002-8A は SNMP による監視が可能です。

MUX5002-4D は、[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.11.]、MUX5002-8D は[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.12.]、MUX5002-8A は [1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.13.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	<i>MUX5002-4D=11</i> <i>MUX5002-8D=12,</i> <i>MUX5002-8A=13</i>	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>MUX5002-4D=" MUX5002-4D : 2 slot Digital Audio (4 AES/EBU) Multiplexer Module"</i> <i>MUX5002-8D=" MUX5002-8D : 2 slot Digital Audio (8 AES/EBU) Multiplexer Module"</i> <i>MUX5002-8A=" MUX5002-8A : 2 slot Analog Audio (8 Analog) Multiplexer Module"</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	2	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
SuperOption 10.1.18.index	INTEGER	RO	4	スーパーオプション	disable=1, enable=2	
In1RelayCtl 20.1.100.index	INTEGER	R/W	4	IN1 リレー設定	off=1, <i>on=2</i>	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス選択	module=1, <i>frame =2,</i> freeRun=3, in1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-1920～ 0 ～+1920 (pixel)	
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600～ 0 ～+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	<i>fs=1,</i> line=2, aam=3, bypass=4	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	off=1, frame=2 , field=3	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリイ制御	off=1, on=2	
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	auto=1 , f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	
ManualFreeze 20.1.114.index	INTEGER	R/W	4	SNMP 又はリモコンによる出 カフリーズ制御	off=1 , on=2	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効／無効	off=1 , on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効／無 効	off=1 , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	int=1 , in1Atc=2, ltc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	off=1 , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ~23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ~59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ~59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレ ーム)	0 ~2~29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動 作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3, ltc=4	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム 値ロード設定	off=1 , on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無 効(自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設 定	off=1 , on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1 , on=2	
TcSameLost :1 20.1.147.index	INTEGER	R/W	4	同じ TC 検出時ロストと判定 するかしないか	off=1, on=2	
TcDfNdfMode :1 20.1.148.index	INTEGER	R/W	4	TC モード設定(TC_SEL= IN1_ATC/LTC のみ有効)	df=1, ndf=2, in=3	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
EmbOutG1En 20.1.200.index : EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオ グループ制御	off=1, on=2 (初期値 G1~G4=on, G5~ G8=off)	
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセ ット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p01)	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p02)	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p03)	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p04)	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p05)	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p06)	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリ セット	p01=1~p12=12 (初期値 p07)	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセッ ト	p01=1~p12=12 (初期値 p08)	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセ ット	p01=1~p12=12 (初期値 p09)	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリ セット	p01=1~p12=12 (初期値 p10)	
Gpi1Func 20.1.240.index : Gpi5Func 20.1.244.index	INTEGER	R/W	4	GPI 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, aoverTake=17, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, mask1en=24, mask2en=25, mask3en=26, mask4en=27, non=32	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
GpO1Func 20.1.250.index : GpO5Func 20.1.254.index	INTEGER	R/W	4	GPO 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, aoverTake=17, rmtRecTrig=18, pic1super=20, pic2super=21, pic3super=22, pic4super=23, sdiErr=24, refer=25, ltcErr=26, lineErr=27, non=32	
RmtRecCtl 20.1.260.index	INTEGER	R/W	4	SDI リモート録画制御	off=1 ,on=2	
SuperEn 20.1.264.index	INTEGER	R/W	4	スーパー出力	off=1 ,on=2	
SuperSel 20.1.265.index	INTEGER	R/W	4	スーパー静止画選択	pic1=1 ,pic2=2, pic3=3, pic4=4	
SuperPosX 20.1.266.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(X)	0 ~1919	
SuperPosY 20.1.267.index	INTEGER	R/W	4	スーパー位置(Y)	0 ~1079	
Mask1En 20.1.274.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1	off=1 ,on=2	
Mask2En 20.1.275.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2	off=1 ,on=2	
Mask3En 20.1.276.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3	off=1 ,on=2	
Mask4En 20.1.277.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4	off=1 ,on=2	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
Mask1ULX 20.1.284.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(X)	0 ~1919	
Mask1ULY 20.1.285.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 左上(Y)	0 ~1079	
Mask1DRX 20.1.286.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(X)	0 ~1919	
Mask1DRY 20.1.287.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 1 右下(Y)	0 ~1079	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Mask2ULX 20.1.288.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(X)	0~1919	
Mask2ULY 20.1.289.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 左上(Y)	0~1079	
Mask2DRX 20.1.290.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(X)	0~1919	
Mask2DRY 20.1.291.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 2 右下(Y)	0~1079	
Mask3ULX 20.1.292.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(X)	0~1919	
Mask3ULY 20.1.293.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 左上(Y)	0~1079	
Mask3DRX 20.1.294.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(X)	0~1919	
Mask3DRY 20.1.295.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 3 右下(Y)	0~1079	
Mask4ULX 20.1.296.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(X)	0~1919	
Mask4ULY 20.1.297.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 左上(Y)	0~1079	
Mask4DRX 20.1.298.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(X)	0~1919	
Mask4DRY 20.1.299.index	INTEGER	R/W	4	スーパーマスク 4 右下(Y)	0~1079	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~0~500	
CurrentExt01InGain 20.1.332.index : CurrentExt16InGain 20.1.347.index	INTEGER	R/W	4	外部入力(AES/ANA)CH のゲ イン調整 (x10dB を設定)	-500~0~500	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index : CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT1Freq 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Amp 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部 出力)	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, non=63 (初期値 Ch01~16=ext01~ ext16、Ch17~32=emb17~ emb32)	
CurrentAudioOverCh01 20.1.450.index : CurrentAudioOverCh32 20.1.481.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーCH 選択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~ mix8=60, mute=63	
CurrentAudioOverFadeTime 20.1.490.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーフェード 時間(*10 秒を設定)	0 ~50	
CurrentAudioOverTake 20.1.491.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーテイク	off=1 , on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, non=63 (初期値 Ch01~32=emb01~emb32)	
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ 32 ~2000	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlarmEnIntComm 20.1.800.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラーム イネーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラーム イネーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラップ イネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックトラップイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定 ファイルに書き込む	no=1 , yesP01=2~yesP12=13	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログ件数	no=1 , yes=2	
In1 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Ref 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	
Dipsw1 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw1 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
Dipsw3 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw3 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
AlarmIntCommErr 30.1.201.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラーム ステータス	noErr=1, err=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.202.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラーム ステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.204.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステ ータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.205.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステ ータス ※1	lock=1, unlock=2	○
ErrInfo 30.1.206.index	INTEGER	RO	4	内部エラー情報ステータス	0x00000000~0xffffffff	

Trap 番号	内容
mux50024dTrapSDIInLock 11.0.1.index mux50028dTrapSDIInLock 12.0.1.index mux50028aTrapSDIInLock 13.0.1.index	SDI がロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapRefLock 11.0.2.index mux50028dTrapRefLock 12.0.2.index mux50028aTrapRefLock 13.0.2.index	リファレンスがロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapLtcLock 11.0.4.index mux50028dTrapLtcLock 12.0.4.index mux50028aTrapLtcLock 13.0.4.index	LTC がロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapSDIInUnlock 11.0.101.index mux50028dTrapSDIInUnlock 12.0.101.index mux50028aTrapSDIInUnlock 13.0.101.index	SDI がアンロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapRefUnlock 11.0.102.index mux50028dTrapRefUnlock 12.0.102.index mux50028aTrapRefUnlock 13.0.102.index	リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapLtcUnlock 11.0.104.index mux50028dTrapLtcUnlock 12.0.104.index mux50028aTrapLtcUnlock 13.0.104.index	LTC がアンロックしたことを示すトラップ

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに“MUX5000_comm.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット共通コンフィグ設定ファイルです。“MUX5000_P01.cfg”～“MUX5000_P12.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット毎のコンフィグ設定ファイルです。1 行 1 パラメータとなっており、設定コマンド、パラメータの順に記載します。//以降はコメントとして扱われます。なお、SD カードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると SD カードアクセス LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、MODE LED が 1 秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

記述例)

IN1_RL ON // IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー

以下に、“MUX5000_comm.cfg”の設定コマンド一覧を示します。下記以外のコマンドは無効となり、動作には影響を与えません。

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
REF_SEL	リファレンス選択	MODULE/FREERUN/IN1	FRAME
PHASE_OFFSET_H	水平方向出力位相	-1920～+1920 (pixel)	0
PHASE_OFFSET_V	垂直方向出力位相	-540～+540 (line)	0
FS_MODE	FS モード	FS/LINE/AAM/BYPASS	FS
FREEZE_CTL	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	FRAME/FIELD/OFF	FRAME
ANC_OUT	アンシラリイ制御	ON:全て通過、OFF:Audio のみ通過	ON
SYSFORMAT	システムフォーマット	AUTO/525I59/625I50/720P60/ 720P59/720P50/720P30/ 720P29/720P25/720P24/ 720P23/1080I60/1080I59/ 1080I50/1080P30/1080P29/ 1080P25/1080P24/1080P23/ 1080PSF24/1080PSF23/ 1080P60A/1080P59A/ 1080P50A/1080P60B/ 1080P59B/1080P50B	AUTO
TC_OFFSET_EN	内蔵 TC のオフセット制御 (TC_SEL=IN1_ATC/LTC 時のみ有効)	ON:イネーブル、OFF:ディスエーブル	OFF
TC_OFFSET_HH	内蔵 TC のオフセット値(時)	0～23	0
TC_OFFSET_MM	内蔵 TC のオフセット値(分)	0～59	0
TC_OFFSET_SS	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0～59	0
TC_OFFSET_FR	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～29	2

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
TC_INIT_HH	内蔵 TC への初期値(時)	0~23	0
TC_INIT_MM	内蔵 TC への初期値(分)	0~59	0
TC_INIT_SS	内蔵 TC への初期値(秒)	0~59	0
TC_INIT_FR	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0~29	0
TC_INIT_BG1	内蔵 TC への初期値(BG1)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG2	内蔵 TC への初期値(BG2)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG3	内蔵 TC への初期値(BG3)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG5	内蔵 TC への初期値(BG5)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG6	内蔵 TC への初期値(BG6)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG7	内蔵 TC への初期値(BG7)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG8	内蔵 TC への初期値(BG8)	0x0~0xf	0x0
TC_FR_LOAD_EN	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_DROP_FR_EN	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	ON:有効、OFF:無効	ON
TC_LOST_ACTION	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	AUTO_RUN/STOP/NO_PACKET	AUTO_RUN
TC_SEL	内蔵 TC の動作を設定	IN1_ATC(入力 1 の ATC スル ー)/LTC/INT	INT
TC_INIT_LOAD	TC 自走時、初期値をロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_RUN_EN	TC 自走開始	ON:自走、OFF:停止	OFF
OUT_ATC_LTC_EN	出力 ATC(LTC)の有効/無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
OUT_ATC_VITC_EN	出力 ATC(VITC)の有効/無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
EMB_OUT_G1_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 1 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G2_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 2 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G3_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 3 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G4_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 4 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G5_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 5 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G6_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 6 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G7_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 7 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G8_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 8 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
AMODE_PCHG_AUTO	音声モードによる自動プリセット切り替え制御	ON:有効、OFF:無効	OFF
1M_PRESET	音声モード 1M 時のプリセット	P01~P12	P01
2M_PRESET	音声モード 2M 時のプリセット	P01~P12	P02
3M_PRESET	音声モード 3M 時のプリセット	P01~P12	P03
4M_PRESET	音声モード 4M 時のプリセット	P01~P12	P04
1S_PRESET	音声モード 1S 時のプリセット	P01~P12	P05
2S_PRESET	音声モード 2S 時のプリセット	P01~P12	P06
1S+2M_PRESET	音声モード 1S+2M 時のプリセット	P01~P12	P07

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
5.1_PRESET	音声モード 5.1 時のプリセット	P01～P12	P08
5.1+S_PRESET	音声モード 5.1+S 時のプリセット	P01～P12	P09
OTHER_PRESET	その他の音声モード時のプリセット	P01～P12	P10
GPI1_FUNC : GPI5_FUNC	GPI 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ AOVER_TAKE/RMT_REC_TRIG/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ MASK1_EN..MASK4_EN/NON	NON
GPO1_FUNC : GPO5_FUNC	GPO 機能選択	P01～P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ AOVER_TAKE/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ PIC1_SUPER..PIC4_SUPER/ NON	NON
RMT_REC_EN	SDI リモート録画機能	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_EN	スーパー出力	ON:有効、OFF:無効	OFF
SUPER_SEL	スーパー画像選択	PIC1/PIC2/PIC3/PIC4	PIC1
SUPER_POS_X	スーパー位置(X)	0～1919	0
SUPER_POS_Y	スーパー位置(Y)	0～1079	0
MASK1_UL_X	スーパーマスク 1 左上(X)	0～1919	0
MASK1_UL_Y	スーパーマスク 1 左上(Y)	0～1079	0
MASK1_DR_X	スーパーマスク 1 右下(X)	0～1919	0
MASK1_DR_Y	スーパーマスク 1 右下(Y)	0～1079	0
MASK2_UL_X	スーパーマスク 2 左上(X)	0～1919	0
MASK2_UL_Y	スーパーマスク 2 左上(Y)	0～1079	0
MASK2_DR_X	スーパーマスク 2 右下(X)	0～1919	0
MASK2_DR_Y	スーパーマスク 2 右下(Y)	0～1079	0
MASK3_UL_X	スーパーマスク 3 左上(X)	0～1919	0
MASK3_UL_Y	スーパーマスク 3 左上(Y)	0～1079	0
MASK3_DR_X	スーパーマスク 3 右下(X)	0～1919	0
MASK3_DR_Y	スーパーマスク 3 右下(Y)	0～1079	0
MASK4_UL_X	スーパーマスク 4 左上(X)	0～1919	0
MASK4_UL_Y	スーパーマスク 4 左上(Y)	0～1079	0
MASK4_DR_X	スーパーマスク 4 右下(X)	0～1919	0
MASK4_DR_Y	スーパーマスク 4 右下(Y)	0～1079	0
MASK1_EN	スーパーマスク 1	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK2_EN	スーパーマスク 2	ON:有効、OFF:無効	OFF

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
MASK3_EN	スーパーマスク 3	ON:有効、OFF:無効	OFF
MASK4_EN	スーパーマスク 4	ON:有効、OFF:無効	OFF
PRESET_UPDATE	プリセットファイルを EEPROM にアップデートするかしないか。音声モードによるプリセット切り換えしない場合は OFF を選択	ON:アップデート、OFF:アップデートしない	OFF

以下に、“MUX5000_P01.cfg”～“MUX5000_P12.cfg”の設定コマンド一覧を示します。

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
EMB01IN_GAIN : EMB32IN_GAIN	エンベ入力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
EXT01IN_GAIN : EXT16IN_GAIN ※1	外部入力(AES/ANA)CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
EMB01OUT_GAIN : EMB32OUT_GAIN	エンベ出力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
TT1_AMP	テストトーン 1 振幅(1dB ステップ)	0～-63 (dBFS)	-20
TT1_FREQ	テストトーン 1 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	1000
TT2_AMP	テストトーン 2 振幅(1dB ステップ)	0～-63 (dBFS)	-20
TT2_FREQ	テストトーン 2 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	800
REMAP_CH01 : REMAP_CH32	リマップ出力 CH 選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/MIX1～MIX8/ MUTE	EXT01～ EXT16 EMB17～ EMB32
DMX_SSEL_CH01 : DMX_SSEL_CH32	ダウンミックス演算 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	EMB01～ EMB32

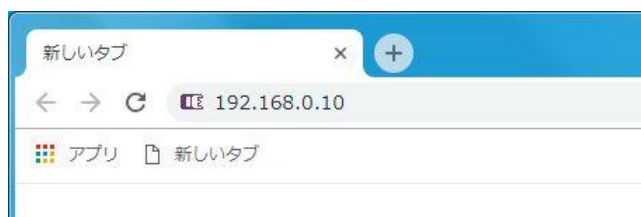
設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
DMX_LCOEF_CH01 : DMX_LCOEF_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_RCOEF_CH01 : DMX_RCOEF_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_LSIGN_CH01 : DMX_LSIGN_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
DMX_RSIGN_CH01 : DMX_RSIGN_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
MIX1_SSEL_CH01 : MIX1_SSEL_CH04	音声ミックス 1 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX1_COEF_CH01 : MIX1_COEF_CH04	音声ミックス 1 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX2_SSEL_CH01 : MIX2_SSEL_CH04	音声ミックス 2 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX2_COEF_CH01 : MIX2_COEF_CH04	音声ミックス 2 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX3_SSEL_CH01 : MIX3_SSEL_CH04	音声ミックス 3 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX3_COEF_CH01 : MIX3_COEF_CH04	音声ミックス 3 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX4_SSEL_CH01 : MIX4_SSEL_CH04	音声ミックス 4 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX4_COEF_CH01 : MIX4_COEF_CH04	音声ミックス 4 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
MIX5_SSEL_CH01 : MIX5_SSEL_CH04	音声ミックス 5 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX5_COEF_CH01 : MIX5_COEF_CH04	音声ミックス 5 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX6_SSEL_CH01 : MIX6_SSEL_CH04	音声ミックス 6 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX6_COEF_CH01 : MIX6_COEF_CH04	音声ミックス 6 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX7_SSEL_CH01 : MIX7_SSEL_CH04	音声ミックス 7 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX7_COEF_CH01 : MIX7_COEF_CH04	音声ミックス 7 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX8_SSEL_CH01 : MIX8_SSEL_CH04	音声ミックス 8 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX8_COEF_CH01 : MIX8_COEF_CH04	音声ミックス 8 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
AUDIO_DELAY	音声遅延(1ms ステップ)	0~2000 (ms)	32
AOVER_CH01 : AOVER_CH32	オーディオオーバーCH 選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/ MIX1~MIX8/MUTE	MUTE
AOVER_FADE_TIME	オーディオオーバーフェード時間	0.0~5.0 (秒)	0.0
AOVER_TAKE	オーディオオーバーテイク	ON:有効、OFF:無効	OFF

9. WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

9 - 1. モジュール画面

MUX5002-4D/8D/8A が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。(MUX5002-4D の場合の表示例)



‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

9 - 2. ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。



9 - 2 - 1. SDI 入力 1

SDI 入力 1 に入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B と表示されます。

9 - 2 - 2. リファレンス

リファレンスに入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 と表示されます。

9 - 2 - 3. Dipsw1

Dipsw1 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9 - 2 - 4. Dipsw3

Dipsw3 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9 - 2 - 5. 内部バス通信エラー

内部バスの通信が停止したときにエラーと赤点灯します。エラーがない場合はエラー無しと緑点灯します。

9 - 2 - 6. SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI 入力 1 がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 - 2 - 7. リファレンスアンロックエラー

リファレンスがロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 - 2 - 8. LTC アンロックエラー

LTC がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 - 3. 各種設定

各種設定には、モジュールに設定できる項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメータを選択するか、値を直接入力することにより設定します。入力した時点で、モジュールには設定が反映されます。ただし、SDCARD には設定が保存されませんので、全ての設定が終了後、コンフィグファイルへの書き込みを明示的に行ってください。

各種設定 [-]												424項目			
☐ 入力リレー切替	オン/通常動作	☐ リファレンス選択	フレーム	☐ 水平位相	0	☐ 垂直位相	0	☐ FSEモード	fs: フレームシンクロ	☐ フリーズ動作	フレーム	☐ アンシラリー出力	オン	☐ システムフォーマット	Auto
☐ マニュアルフリーズ	オフ	☐ ATC(LTC)出力	オフ	☐ ATC(VITC)出力	オフ	☐ TC選択	内部TC	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット制御	オフ	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(時)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(分)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(秒)	0
☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット	2	☐ TCロスト時動作	無電	☐ 内蔵TC初期値(時)	0	☐ 内蔵TC初期値(分)	0	☐ 内蔵TC初期値(秒)	0	☐ 内蔵TC初期値(フレーム)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG1)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG2)	0
☐ 内蔵TC初期値(BG3)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG4)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG5)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG6)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG7)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG8)	0	☐ 内蔵TC初期値(BGフラグ)	0	☐ 内蔵TCフレーム初期値ロード設定	オフ
☐ 内蔵TCドロップフレーム設定	オン	☐ 内蔵TC初期値ロード設定	オフ	☐ 内蔵TC自走開始設定	オフ	☐ 同TC検出時ロスト判定設定	オン	☐ ATC/LTC TCモード設定	入力追従モード	☐ エンベデッドオーディオグループ1出力	オン	☐ エンベデッドオーディオグループ2出力	オン	☐ エンベデッドオーディオグループ3出力	オン
☐ エンベデッドオーディオグループ4出力	オン	☐ エンベデッドオーディオグループ5出力	オフ	☐ エンベデッドオーディオグループ6出力	オフ	☐ エンベデッドオーディオグループ7出力	オフ	☐ エンベデッドオーディオグループ8出力	オフ	☐ 音声モード自動プリセット切替設定	オフ	☐ 音声モード1M時プリセット値	プリセット01	☐ 音声モード2M時プリセット値	プリセット02
☐ 音声モード3M時プリセット値	プリセット03	☐ 音声モード4M時プリセット値	プリセット04	☐ 音声モード15時プリセット値	プリセット05	☐ 音声モード25時プリセット値	プリセット06	☐ 音声モード15+2M時プリセット値	プリセット07	☐ 音声モード5.1時プリセット値	プリセット08	☐ 音声モードS.1+5時プリセット値	プリセット09	☐ その他音声モードプリセット値	プリセット10
☐ GPI1 機能選択	なし	☐ GPI2 機能選択	なし	☐ GPO1 機能選択	なし	☐ GPO2 機能選択	なし	☐ SDリモート録画制御	オフ	☐ スーパー出力	オフ	☐ スーパー静止画選択	Picture1	☐ スーパー位置(X)	0
☐ スーパー位置(Y)	0	☐ スーパーマスク1 制御	オフ	☐ スーパーマスク1 制御	オフ	☐ スーパーマスク3 制御	オフ	☐ スーパーマスク1 制御	オフ	☐ スーパーマスク1 左上(X)	0	☐ スーパーマスク1 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク1 右下(X)	0
☐ スーパーマスク1 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク2 左上(X)	0	☐ スーパーマスク2 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク2 右下(X)	0	☐ スーパーマスク2 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク2 左上(X)	0	☐ スーパーマスク2 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク2 右下(X)	0
☐ スーパーマスク2 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク3 左上(X)	0	☐ スーパーマスク3 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク3 右下(X)	0	☐ スーパーマスク3 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク3 左上(X)	0	☐ スーパーマスク3 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク3 右下(X)	0
☐ スーパーマスク3 右下(Y)	0	☐ スーパーマスク4 左上(X)	0	☐ スーパーマスク4 左上(Y)	0	☐ スーパーマスク4 右下(X)	0	☐ スーパーマスク4 右下(Y)	0	☐ プリセットロード	いいえ	☐ プリセットセーブ	いいえ	☐ エンベデッドCH01 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH02 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH03 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH04 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH05 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH06 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH07 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH08 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH09 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH10 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH11 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH12 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH13 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH14 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH15 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH16 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH17 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH18 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH19 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH20 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH21 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH22 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH23 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH24 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH25 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH26 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH27 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH28 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH29 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH30 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH31 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH32 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH33 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH34 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH35 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH36 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH37 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH38 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH39 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH40 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH41 入力ゲイン(*0.1dB)	60
☐ エンベデッドCH42 入力ゲイン(*0.1dB)	60	☐ エンベデッドCH43 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH44 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH45 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH46 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH47 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH48 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH49 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH50 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH51 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH52 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH53 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH54 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH55 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH56 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH57 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH58 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH59 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH60 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH61 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH62 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH63 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH64 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH65 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH66 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH67 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH68 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH69 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH70 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH71 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH72 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH73 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH74 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH75 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH76 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH77 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH78 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH79 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH80 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH81 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH82 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH83 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH84 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH85 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH86 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH87 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH88 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH89 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH90 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH91 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH92 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH93 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH94 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH95 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH96 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH97 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ エンベデッドCH98 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH99 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH100 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH101 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH102 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH103 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH104 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH105 入力ゲイン(*0.1dB)	0
☐ テストトーン1 周波数	1kHz	☐ テストトーン2 振幅(dBFS)	-20	☐ テストトーン2 周波数	800Hz	☐ リマップ出力CH01	Emblin CH01	☐ リマップ出力CH02	Emblin CH02	☐ リマップ出力CH03	Emblin CH03	☐ リマップ出力CH04	Emblin CH04	☐ リマップ出力CH05	Emblin CH05
☐ リマップ出力CH06	Emblin CH06	☐ リマップ出力CH07	Emblin CH07	☐ リマップ出力CH08	Emblin CH08	☐ リマップ出力CH09	Emblin CH09	☐ リマップ出力CH10	Emblin CH10	☐ リマップ出力CH11	Emblin CH11	☐ リマップ出力CH12	Emblin CH12	☐ リマップ出力CH13	Emblin CH13
☐ リマップ出力CH14	Emblin CH14	☐ リマップ出力CH15	Emblin CH15	☐ リマップ出力CH16	Emblin CH16	☐ リマップ出力CH17	Emblin CH17	☐ リマップ出力CH18	Emblin CH18	☐ リマップ出力CH19	Emblin CH19	☐ リマップ出力CH20	Emblin CH20	☐ リマップ出力CH21	Emblin CH21
☐ リマップ出力CH22	Emblin CH22	☐ リマップ出力CH23	Emblin CH23	☐ リマップ出力CH24	Emblin CH24	☐ リマップ出力CH25	Emblin CH25	☐ リマップ出力CH26	Emblin CH26	☐ リマップ出力CH27	Emblin CH27	☐ リマップ出力CH28	Emblin CH28	☐ リマップ出力CH29	Emblin CH29
☐ リマップ出力CH30	Emblin CH30	☐ リマップ出力CH31	Emblin CH31	☐ リマップ出力CH32	Emblin CH32	☐ リマップ出力CH33	Emblin CH33	☐ リマップ出力CH34	Emblin CH34	☐ リマップ出力CH35	Emblin CH35	☐ リマップ出力CH36	Emblin CH36	☐ リマップ出力CH37	Emblin CH37
☐ リマップ出力CH38	Emblin CH38	☐ リマップ出力CH39	Emblin CH39	☐ リマップ出力CH40	Emblin CH40	☐ リマップ出力CH41	Emblin CH41	☐ リマップ出力CH42	Emblin CH42	☐ リマップ出力CH43	Emblin CH43	☐ リマップ出力CH44	Emblin CH44	☐ リマップ出力CH45	Emblin CH45
☐ リマップ出力CH46	Emblin CH46	☐ リマップ出力CH47	Emblin CH47	☐ リマップ出力CH48	Emblin CH48	☐ リマップ出力CH49	Emblin CH49	☐ リマップ出力CH50	Emblin CH50	☐ リマップ出力CH51	Emblin CH51	☐ リマップ出力CH52	Emblin CH52	☐ リマップ出力CH53	Emblin CH53
☐ リマップ出力CH54	Emblin CH54	☐ リマップ出力CH55	Emblin CH55	☐ リマップ出力CH56	Emblin CH56	☐ リマップ出力CH57	Emblin CH57	☐ リマップ出力CH58	Emblin CH58	☐ リマップ出力CH59	Emblin CH59	☐ リマップ出力CH60	Emblin CH60	☐ リマップ出力CH61	Emblin CH61
☐ リマップ出力CH62	Emblin CH62	☐ リマップ出力CH63	Emblin CH63	☐ リマップ出力CH64	Emblin CH64	☐ リマップ出力CH65	Emblin CH65	☐ リマップ出力CH66	Emblin CH66	☐ リマップ出力CH67	Emblin CH67	☐ リマップ出力CH68	Emblin CH68	☐ リマップ出力CH69	Emblin CH69
☐ リマップ出力CH70	Emblin CH70	☐ リマップ出力CH71	Emblin CH71	☐ リマップ出力CH72	Emblin CH72	☐ リマップ出力CH73	Emblin CH73	☐ リマップ出力CH74	Emblin CH74	☐ リマップ出力CH75	Emblin CH75	☐ リマップ出力CH76	Emblin CH76	☐ リマップ出力CH77	Emblin CH77
☐ リマップ出力CH78	Emblin CH78	☐ リマップ出力CH79	Emblin CH79	☐ リマップ出力CH80	Emblin CH80	☐ リマップ出力CH81	Emblin CH81	☐ リマップ出力CH82	Emblin CH82	☐ リマップ出力CH83	Emblin CH83	☐ リマップ出力CH84	Emblin CH84	☐ リマップ出力CH85	Emblin CH85
☐ リマップ出力CH86	Emblin CH86	☐ リマップ出力CH87	Emblin CH87	☐ リマップ出力CH88	Emblin CH88	☐ リマップ出力CH89	Emblin CH89	☐ リマップ出力CH90	Emblin CH90	☐ リマップ出力CH91	Emblin CH91	☐ リマップ出力CH92	Emblin CH92	☐ リマップ出力CH93	Emblin CH93
☐ リマップ出力CH94	Emblin CH94	☐ リマップ出力CH95	Emblin CH95	☐ リマップ出力CH96	Emblin CH96	☐ リマップ出力CH97	Emblin CH97	☐ リマップ出力CH98	Emblin CH98	☐ リマップ出力CH99	Emblin CH99	☐ リマップ出力CH100	Emblin CH100	☐ リマップ出力CH101	Emblin CH101
☐ リマップ出力CH102	Emblin CH102	☐ リマップ出力CH103	Emblin CH103	☐ リマップ出力CH104	Emblin CH104	☐ リマップ出力CH105	Emblin CH105	☐ リマップ出力CH106	Emblin CH106	☐ リマップ出力CH107	Emblin CH107	☐ リマップ出力CH108	Emblin CH108	☐ リマップ出力CH109	Emblin CH109
☐ リマップ出力CH110	Emblin CH110	☐ リマップ出力CH111	Emblin CH111	☐ リマップ出力CH112	Emblin CH112	☐ リマップ出力CH113	Emblin CH113	☐ リマップ出力CH114	Emblin CH114	☐ リマップ出力CH115	Emblin CH115	☐ リマップ出力CH116	Emblin CH116	☐ リマップ出力CH117	Emblin CH117
☐ リマップ出力CH118	Emblin CH118	☐ リマップ出力CH119	Emblin CH119	☐ リマップ出力CH120	Emblin CH120	☐ リマップ出力CH121	Emblin CH121	☐ リマップ出力CH122	Emblin CH122	☐ リマップ出力CH123	Emblin CH123	☐ リマップ出力CH124	Emblin CH124	☐ リマップ出力CH125	Emblin CH125
☐ リマップ出力CH126	Emblin CH126	☐ リマップ出力CH127	Emblin CH127	☐ リマップ出力CH128	Emblin CH128	☐ リマップ出力CH129	Emblin CH129	☐ リマップ出力CH130	Emblin CH130	☐ リマップ出力CH131	Emblin CH131	☐ リマップ出力CH132	Emblin CH132	☐ リマップ出力CH133	Emblin CH133
☐ リマップ出力CH134	Emblin CH134	☐ リマップ出力CH135	Emblin CH135	☐ リマップ出力CH136	Emblin CH136	☐ リマップ出力CH137	Emblin CH137	☐ リマップ出力CH138	Emblin CH138	☐ リマップ出力CH139	Emblin CH139	☐ リマップ出力CH140	Emblin CH140	☐ リマップ出力CH141	Emblin CH141
☐ リマップ出力CH142	Emblin CH142	☐ リマップ出力CH143	Emblin CH143	☐ リマップ出力CH144	Emblin CH144	☐ リマップ出力CH145	Emblin CH145	☐ リマップ出力CH146	Emblin CH146	☐ リマップ出力CH147	Emblin CH147	☐ リマップ出力CH148	Emblin CH148	☐ リマップ出力CH149	Emblin CH149
☐ リマップ出力CH150	Emblin CH150	☐ リマップ出力CH151	Emblin CH151	☐ リマップ出力CH152	Emblin CH152	☐ リマップ出力CH153	Emblin CH153	☐ リマップ出力CH154	Emblin CH154	☐ リマップ出力CH155	Emblin CH155	☐ リマップ出力CH156	Emblin CH156	☐ リマップ出力CH157	Emblin CH157
☐ リマップ出力CH158	Emblin CH158	☐ リマップ出力CH159	Emblin CH159	☐ リマップ出力CH160	Emblin CH160	☐ リマップ出力CH161	Emblin CH161	☐ リマップ出力CH162	Emblin CH162	☐ リマップ出力CH163	Emblin CH163	☐ リマップ出力CH164	Emblin CH164	☐ リマップ出力CH165	Emblin CH165
☐ リマップ出力CH166	Emblin CH166	☐ リマップ出力CH167	Emblin CH167	☐ リマップ出力CH168	Emblin CH168	☐ リマップ出力CH169	Emblin CH169	☐ リマップ出力CH170	Emblin CH170	☐ リマップ出力CH171	Emblin CH171	☐ リマップ出力CH172	Emblin CH172	☐ リマップ出力CH173	Emblin CH173
☐ リマップ出力CH174	Emblin CH174	☐ リマップ出力CH175	Emblin CH175	☐ リマップ出力CH176	Emblin CH176	☐ リマップ出力CH177	Emblin CH177	☐ リマップ出力CH178	Emblin CH178	☐ リマップ出力CH179	Emblin CH179	☐ リマップ出力CH180	Emblin CH180	☐ リマップ出力CH181	Emblin CH181
☐ リマップ出力CH182	Emblin CH182														

[illegible]

☐ ダウンミックスCH30 Rch演算係数(*0.1dB)	-127	☐ ダウンミックスCH31 Rch演算係数(*0.1dB)	-127	☐ ダウンミックスCH32 Rch演算係数(*0.1dB)	-127	☐ ダウンミックスCH01 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH02 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH03 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH04 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH05 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH06 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH07 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH08 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH09 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH10 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH11 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH12 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH13 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH14 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH15 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH16 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH17 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH18 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH19 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH20 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH21 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH22 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH23 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH24 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH25 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH26 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH27 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH28 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH29 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH30 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH31 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH32 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH01 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH02 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH03 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH04 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH05 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH06 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH07 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH08 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH09 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH10 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH11 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH12 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH13 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH14 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH15 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH16 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH17 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH18 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH19 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH20 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH21 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH22 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH23 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH24 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH25 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH26 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH27 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH28 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH29 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH30 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH31 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH32 Rch演算係数符号	1	☐ 音声ミックス1 CH02ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス1 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス1 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス2 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス2 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス3 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス3 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス4 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス4 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス5 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス5 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス6 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス6 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス7 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス7 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH01ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス8 CH02ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH03ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH04ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH01演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス8 CH02演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH03演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH04演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声遅延(ms)	32
☐ 輝度(*0.1%)		☐ 彩度(*0.1%)		☐ 色相(*0.1°)		☐ アラーム設定 @ 内部バス通信エラー	無効
☐ アラーム設定 @ SDI入力1ロックエラー	無効	☐ アラーム設定 @ リファレンスアラームロックエラー	無効	☐ アラーム設定 @ LTCアンロックエラー	無効	☐ トラップ設定 @ SDI入力1ロックエラー	無効
☐ トラップ設定 @ リファレンスアラームロックエラー	無効	☐ トラップ設定 @ LTCアンロックエラー	無効	☐ 初期設定に戻す	戻る	☐ 現設定をコンフィグファイルにセーブ	いいえ
						更新	

9-3-1. 入力1リレー

SDI 入力 1 のリレーの設定です。オンで SDI 受信状態となり、オフで SDI 入力 1 を SDI 出力 1 にバイパス出力します。

9-3-2. リファレンス選択

リファレンス信号をモジュール、フレーム、フリーラン、入力 1 から選択します。

9-3-3. 水平位相

リファレンスに対する SDI 出力の水平位相を設定します。設定範囲は、-1920 ピクセル～1920 ピクセルで、1 ピクセル単位で設定で

きます。

9-3-4. 垂直位相

リファレンスに対する SDI 出力の垂直位相を設定します。設定範囲は、-600 ライン～600 ラインで、1 ライン単位で設定できます。

9-3-5. FS モード

FS モードをフレームシンクロナイズ・モード、ラインシンクロナイズ・モード、自動音声ミュートモード、バイパス・モードから選択します。

9-3-6. フリーズ動作

FS モードがフレームシンクロナイズ・モード又は、自動音声ミュートモードの場合に、フリーズするときの動作をオフ、フレーム、フィールドから選択します。

9-3-7. アンシラリー出力

入力されたアンシラリーを出力するか、出力しないかを設定します。オンで出力、オフで出力しません。

エンベデッド音声と、アンシラリータイムコードは、本設定に関係なく、別途出力設定ができます。

9-3-8. システムフォーマット

システム（出力）フォーマットを設定します。AUTO /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B が設定でき、AUTO に設定すると入力信号フォーマットに合わせて出力フォーマットが変化します。個別フォーマットを設定した場合は、入力信号フォーマットに関係なく設定したフォーマットで出力します。

9-3-9. マニュアルフリーズ

SNMP 又はリモコンにより出力フリーズの制御を行います。オンで出力フリーズし、オフで通常動作となります。

9-3-10. タイムコード選択

タイムコードを内部 TC（自走タイムコード）か、ATC（アンシラリータイムコード）か、フレーム入力 LTC かを選択します。

9-3-11. タイムコードオフセット

タイムコードのオフセットをオン、オフします。

9-3-12. タイムコードオフセット（時間）～（フレーム）

タイムコードのオフセット値を時間、分、秒、フレームで設定します。

9-3-13. タイムコードロスト時

タイムコードがロストしたときの動作を設定します。自走、停止、パケットなし、入力 LTC が選択できます。

9-3-14. タイムコード初期値（時間）～（フレーム）

自走時のタイムコード初期値を時間、分、秒、フレームで設定します。

9-3-15. タイムコード初期値(BG1)～（BG フラグ）

タイムコードパケットの BG1～BG フラグの値を設定します。

9-3-16. タイムコードドロップフレーム

タイムコードをドロップフレームでカウントする場合はオンに設定し、ノンドロップフレームでカウントするときはオフに設定します。

9-3-17. タイムコード初期値読み込み

オンに設定すると、設定されたタイムコード初期値がセットされます。

9-3-18. タイムコードフレーム初期値読み込み

タイムコードのフレーム初期値を読み込む場合はオン、読み込まない場合はオフに設定します。

9-3-19. タイムコードラン

自走の時にタイムコードをオンで、カウント開始し、オフでカウント停止します。

9-3-20. 同じ TC ロスト判定

同じタイムコード値が入力された場合、オンの場合ロストと判定し、タイムコードロスト時の設定された動作を行います。オフに設定された場合はそのまま、同じタイムコードをスルー出力します。

9-3-21. DF/NDF モード

入力されている DF/NDF 情報に従い動作するか、強制的に DF 又は NDF で動作するかを設定します。入力追従モード、強制 DF モード、強制 NDF モードが設定できます。

9-3-22. エンベデッド・グループ 1~8 出力

出力エンベデッド・グループのオン、オフを設定します。。

9-3-23. 自動プリセット適用

局間制御コードの音声モードに従い、プリセットを切り替える場合はオンに設定し、音声モードに従わないときはオフに設定します。オフの場合には、プリセット 1 で動作します。

9-3-24. プリセット 1M~プリセットその他

各音声モードで適用するプリセット番号を設定します。

9-3-25. GPI1~GPI5 機能

GPI1~GPI5 の機能を設定します。プリセット 1~12 の読み込み、出力 SDI フリーズ、出力 SDI スルー、音声出力ミュート、タイムコードセット、オーディオオーバー・テイク、SDI リモート録画トリガ、静止画 1~4 スーパー、スーパーマスク 1~4、なしが設定できます。

9-3-26. GPO1~GPO5 機能

GPO1~GPO5 の機能を設定します。プリセット 1~12 タリ、出力 SDI フリーズタリ、出力 SDI スルータリ、音声出力ミュートタリ、タイムコードセットタリ、オーディオオーバー・テイクタリ、SDI リモート録画トリガタリ、静止画 1~4 スーパータリ、スーパーマスク 1~4 タリ、SDI エラータリ、REF エラータリ、LTC エラータリ、ラインエラータリ、なしが設定できます。

9-3-27. SDI リモート録画

SDI リモート録画のパケット出力のオン、オフを設定します。

9-3-28. スーパー出力

スーパー静止画選択で設定された静止画をオンでスーパーし、オフでスーパー停止します。本機能はスーパーオプションが必要です。

9-3-29. スーパー静止画選択

スーパーする静止画を Picture1~4 から選択します。Picture1~4 は SDCARD に書き込んでおき、ファイル名は pic1.tga~pic4.tga に固定されており、ファイルフォーマットは KEY 付きの TARGA 非圧縮フォーマットです。

9-3-30. スーパー位置(X)、(Y)

スーパーする位置の X、Y 座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0~1919 で、1 ピクセル単位、Y 座標が 0~1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

9-3-31. スーパーマスク 1 左上(X)~スーパーマスク 4 右下(Y)

スーパーのマスク設定エリア 4 パターンの座標を設定します。設定範囲は X 座標が 0~1919 で、1 ピクセル単位、Y 座標が 0~1079 で、1 ライン単位で設定します。画面左上が(0,0)になります。

9-3-32. プリセット読み込み

EEPROM 内のプリセットを読み出します。読み出す前に書き込んでおく必要があります。プリセット 1~12 を選択して読み込みます。

9-3-33. プリセット書き込み

現在の設定情報を EEPROM のプリセットに書き込みます。プリセット 1~12 を選択して書き込みます。

9-3-34. カレントエンベデッド Ch01~Ch32 入力ゲイン

エンベデッド音声の入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

9-3-3 5. カレント外部入力 Ch01~Ch16 入力ゲイン

外部入力音声の入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

9-3-3 6. カレントエンベデッド Ch01~Ch32 出力ゲイン

エンベデッド出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)~500(+50.0dB)です。

9-3-3 7. カレントテストトーン 1 振幅(dBFS)

テストトーン 1 の振幅を設定します。設定範囲は、-63~0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-3-3 8. カレントテストトーン 1 周波数

テストトーン 1 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-3-3 9. カレントテストトーン 2 振幅(dBFS)

テストトーン 2 の振幅を設定します。設定範囲は、-63~0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-3-4 0. カレントテストトーン 2 周波数

テストトーン 2 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-3-4 1. カレントリマップ出力 Ch01~Ch32

エンベデッド出力音声のリマップ設定をチャンネルごとに行います。エンベデッド入力 Ch01~Ch32,外部入力 Ch01~Ch16、テストトーン 1,2 ,ダウンミックス音声、ミックス音声 1~8、ミュートが設定できます。

9-3-4 2. カレントオーディオ・オーバーCh01~Ch32

エンベデッド出力のチャンネルごとに、フェードイン、アウトする音声を選択します。エンベデッド入力 Ch01~Ch32,外部入力 Ch01~Ch16、テストトーン 1,2 ,ダウンミックス音声、ミックス音声 1~8、ミュートが設定できます。

9-3-4 3. カレントオーディオ・オーバー・フェード時間

オーディオオーバーのフェード時間を設定します。設定する時間の 10 倍の値を設定します。0~50(5.0 秒)の範囲で 0.1 秒単位で設定します。

9-3-4 4. カレントオーディオ・オーバー・テイク

オーディオオーバーをオンで音声が入力され、オフで音声が入力されずになります。

9-3-4 5. ダウンミックス・ソース選択 Ch01~Ch32

ダウンミックス演算を行う、各チャンネルのソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01~Ch32,外部入力 Ch01~Ch16、テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-3-4 6. ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01~Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)~0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-3-4 7. ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01~Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の符号を設定します。-1(マイナス)か、1 (プラス) を設定します。

9-3-4 8. ミックス 1~8 ソース選択 Ch01~Ch04

各指定された 4 チャンネルの音声合成を 8 パターン行うことができ、各ソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01~Ch32,外部入力 Ch01~Ch16、テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-3-4 9. ミックス 1~8 係数 Ch01~Ch04

各 4 チャンネルの係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)~0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-3-50. カレント音声遅延(ms)

音声遅延を設定します。設定できる範囲は、0ms～2000ms で、1ms 単位です。

9-3-51. アラーム設定（内部バス通信エラー）

内部バス通信エラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-52. アラーム設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-53. アラーム設定（リファレンスアンロックエラー）

リファレンスアンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-54. アラーム設定（LTC アンロックエラー）

LTC アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-55. トラップ設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-56. トラップ設定（リファレンスアンロックエラー）

リファレンスアンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-57. トラップ設定（LTC アンロックエラー）

LTC アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-3-58. 初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると各種設定を初期状態にします。ただし、この操作だけでは現在のモジュール状態が初期状態になるだけで SDCARD に設定情報を書き込んでいませんので、再度電源投入すると、SDCARD に設定されている設定値で起動されます。

9-3-59. コンフィグファイルに書き込み

現在の設定値をコンフィグファイルに書き込みます。はい（プリセット 1）～はい（プリセット 12）が設定でき、設定したときに SDCARD 内のコンフィグファイルを書き換えます。一度、はい（プリセット 1）を指定し、プリセット 1 に書き込んだ後に、設定修正し、再度書き込む場合は、一度いいえを選択後、再度はい（プリセット 1）を選択してください。

9-4. 再起動設定

コントローラの再起動を WEB から行うことができます。再起動を行うことにより、SDCARD の設定を再読み込みします。



9-4-1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

9-4-2. コントローラの再起動

再起動の許可がはいの状態、再起動をクリックすることによりコントローラが再起動されます。

9-5. ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SDCARD を抜くとロギング動作は停止します。再度 SDCARD を挿入した後は、コントローラを再起動してください。ログの時刻は C5001/C5002 フレームのコントローラの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- ・SDI 入力のアナログを含むフォーマットと変換時刻
- ・リファレンス入力のアナログを含むフォーマットと変換時刻
- ・LTC 入力ロック/アナログと変換時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変換時刻



9-5-1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

9-5-2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

9-5-3. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

9-5-4. ログ取得

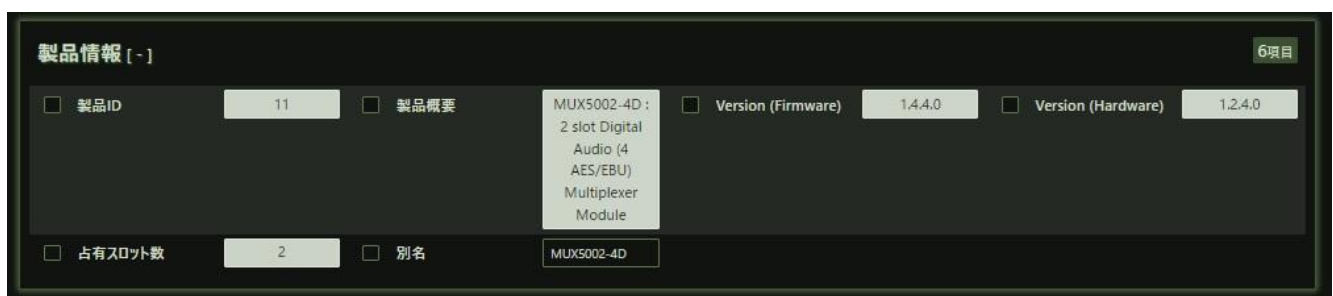
ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	,slt	mode	,OID	, type	, val	Status Description
6	2022-10-27 11:41:54	13	System	Logging Start			
7	2022-10-27 11:41:54	13	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.11.30.100	INT	13	SDI 1080I59
8	2022-10-27 11:41:54	13	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.11.30.102	INT	2	REF 525I59
9	2022-10-27 11:42:35	13	Set	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.11.20.280	INT	1	

9-6. 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



9-6-1. 製品 ID

モジュールの ID 番号です。MUX5002-4D は 11、MUX5002-8D は 12、MUX5002-8A は 13 です。

9-6-2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

9-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)

MUX5002-4D/8D/8A に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

9-6-4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。MUX5002-4D/8D/8A は 2 スロットです。

9-6-5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

10. コネクタ ピンアサイン表

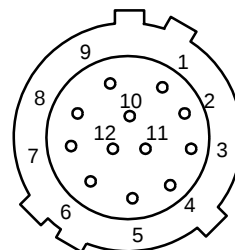
REM ヒロセ電機 HR10A-10R-12S

1	GND	5	GPI4	9	GPO2
2	GPI1	6	+12V OUT	10	GPO3
3	GPI2	7	GPI5	11	GPO4
4	GPI3	8	GPO1	12	GPO5

GPI1～GPI5 メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO5 オープンコレクタ出力(24V/30mA MAX)

+12V OUT +12V(100mA MAX)



ANALOG IN Dsub25ピン(メス)

1	AUDIO_CH8_H	10	AUDIO_CH2_H	18	AUDIO_CH5_H
2	AUDIO_CH8_S	11	AUDIO_CH2_S	19	AUDIO_CH5_S
3	AUDIO_CH7_C	12	AUDIO_CH1_C	20	AUDIO_CH4_C
4	AUDIO_CH6_H	13	N.C.	21	AUDIO_CH3_H
5	AUDIO_CH6_S	14	AUDIO_CH8_C	22	AUDIO_CH3_S
6	AUDIO_CH5_C	15	AUDIO_CH7_H	23	AUDIO_CH2_C
7	AUDIO_CH4_H	16	AUDIO_CH7_S	24	AUDIO_CH1_H
8	AUDIO_CH4_S	17	AUDIO_CH6_C	25	AUDIO_CH1_S
9	AUDIO_CH3_C				

AES/EBU IN Dsub15ピン(メス)

1	AES IN1	6	AES IN6	11	GND
2	AES IN2	7	AES IN7	12	GND
3	AES IN3	8	AES IN8	13	GND
4	AES IN4	9	GND	14	GND
5	AES IN5	10	GND	15	GND

1 1 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
	コネクタ	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	SDI 入力と同じ
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling SD 20bit,3G/HD 24bit
	コネクタ	BNCx2
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクタ	BNCx1
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク 75Ω
AES/EBU 入力 MUX5002-4D, MUX5002-8D	対応フォーマット	32kHz~96kHz sampling 16bit~24bit
	入力レベル、インピーダンス	1.0Vp-p 75Ω
	コネクタ	MUX5002-4D BNCx4 MUX5002-8D Dsub15 ピン(メス)
ANALOG AUDIO 入力 MUX5002-8A	基準入力レベル	0/+4dBm 600Ω平衡
	最大入力レベル	+24dBm
	コネクタ	Dsub25 ピン(メス)
リモート入出力	コネクタ	小型丸形コネクタ 12 ピン x1
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0 °C ~ 40 °C 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	MUX5002-4D	9.5W
	MUX5002-8D	9.5W
	MUX5002-8A	14W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	MUX5002-4D	250g
	MUX5002-8D	250g
	MUX5002-8A	300g
オプション	スーパーインポーズ機能	

1 2 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp